

八戸学院大学 大木ゼミ
令和5年2月4日

三八圏域における 知的・精神・発達 障がいのある人に による社会参画の 促進

令和4年度
八戸市学生＆高校生まちづくり助成金
コンペティション



みんなで
協働



活動の概要

知的・精神・発達障がいのある人が
地域に出て活動するところをあまり
見かけず、施設内の就労や活動に
従事している

八戸市内は中心街のいたるところ
が殺風景に感じられる

- ・知的・精神・発達障がい者本人の「個性や持ち味」を自ら見つけてもらう。
- ・公共施設を障がいのある人が彩る過程が「エンパワメント」につながる。



中心街を明るく華やかにしたい！！

活動内容

「特定非営利活動法人なんぶねつと」より紹介していただいた施設に協働を呼びかける

八戸市市民活動サポートセンター「わいぐ」に登録している市民団体を紹介していただく

利用者・施設の職員の方々との話し合い

制作・展示

来場者にアンケート調査を実施する

◎三八圏域における施設との協働

◎就労継続支援B型
※身体・知的・精神障がい

障がい者サポートセンター くるみの里

当事者の方々と学生
で話し合い、青森県
の名産からオブジェの
題材を決定



創作過程

○テーマ…青森の名産

- ▶ りんご
- ▶ 烏帽子
- ▶ ひな壇
- ▶ 看板



ストレングス



大きなオブジェの
制作に挑戦 !!

◎三八圏域における施設との協働

特定非営利活動法人
どんぐりの家

子どもたちと学生で
話し合い、三戸町に
ゆかりのあるものから
貼り絵の題材を決定

◎放課後等デイサービス



創作過程





◎三八圏域における施設との協働

生活介護事業所
サクラ

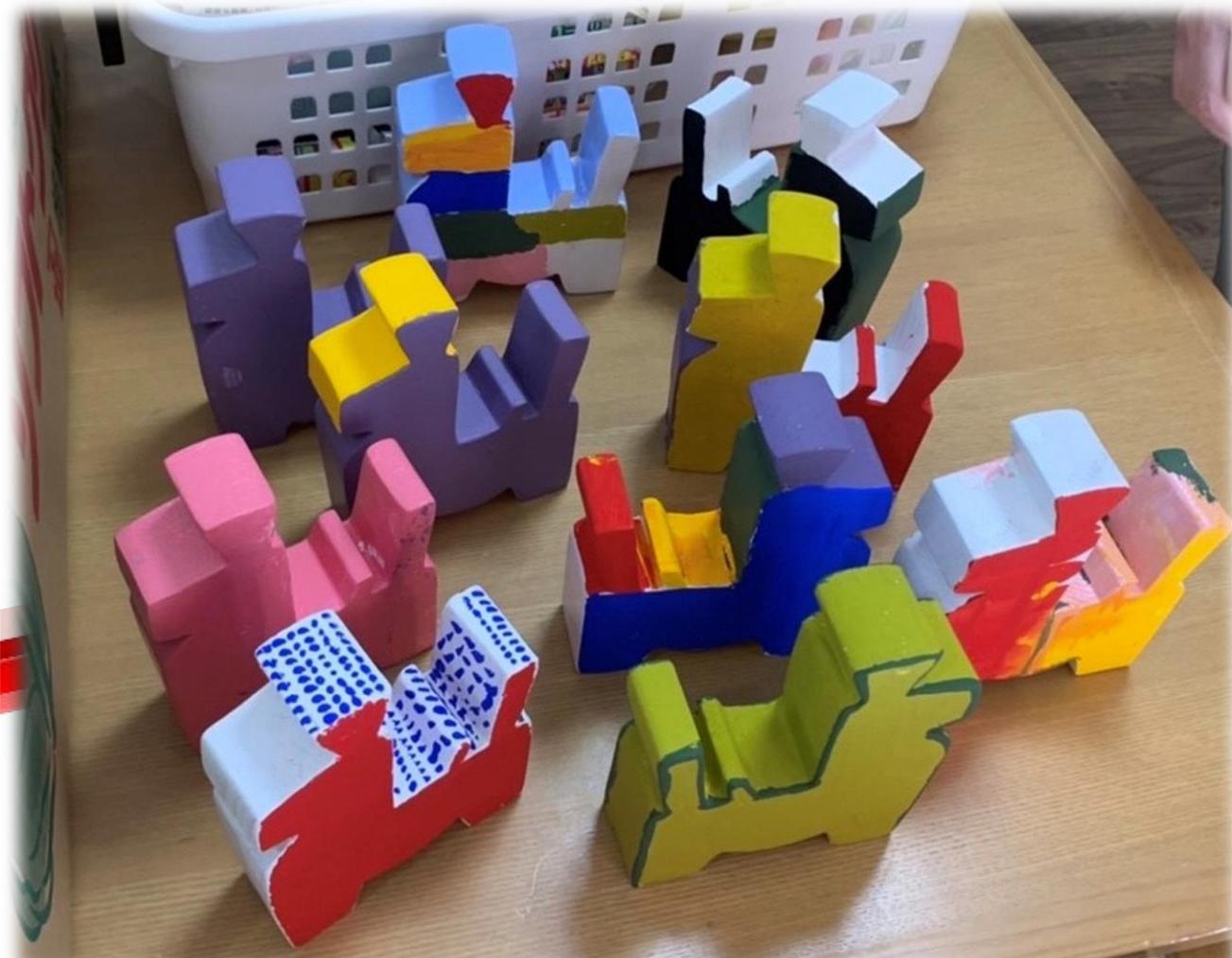
◎障がいのある方の生活
支援施設

*一緒に創作活動してい
ただいた同法人事業所
【メープル】

八幡馬



創作過程



華やかで色とりどりの
個性豊かな八幡馬の
創作

個性や持ち味



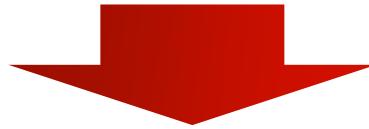
展示会

12月10日(土) マチニワ「光の広場」
12月17日(土) はっち「はっちひろば」



エンパワメントプロセス

自分を受け入れ地域にも
受け入れられることで、
理解に繋がる。



成功体験により、地域
への参加に対する動機
づけが高まる。



自身で手掛けた作品による
地域貢献

展示会を通した交流

参加型企画



「街」に対する 思いの語り

広報活動



作品で彩る 八戸中心街

八戸

八戸学院大学人間健康学科の大木えりか講師のゼミが17日、三八地域の障がい者施設と連携して進めていたプロジェクトで制作した作品を、八戸市の八戸ポータルミュージアムはっちで展示した。
(相澤聰子)



はっちに40点展示

八学大と障がい者施設連携

プロジェクトは、障がいをもつた貼り絵を約40点が並んだ。

貼り絵は作品をじっくり眺め

つむらちが制作した作品を市中

心斎彩り、にぎやかに飾り出す

のが目的。同ゼミの生徒が発

案し、市の助成金を受けて実施

した。10日には、同市の「ま

ちなかひばマチ」で展示

した。

作品は同市の障害者サポート

センター「くるみの里」や生活

介護事業所「サクフ」「三町の

NPO法人「どんぐりの家」の利

用者が分担して制作。会場には

カラフルな八幡馬や高さ約1.

5mのリンゴと鳥帽子のオジ

「11ひきのねこ」を題材にし

831700へ。

令和4年12月24日土曜日
東奥日報 22面掲載

くるみの里取材対応
11月1日



展示会【マチニワ】取材対応
12月10日



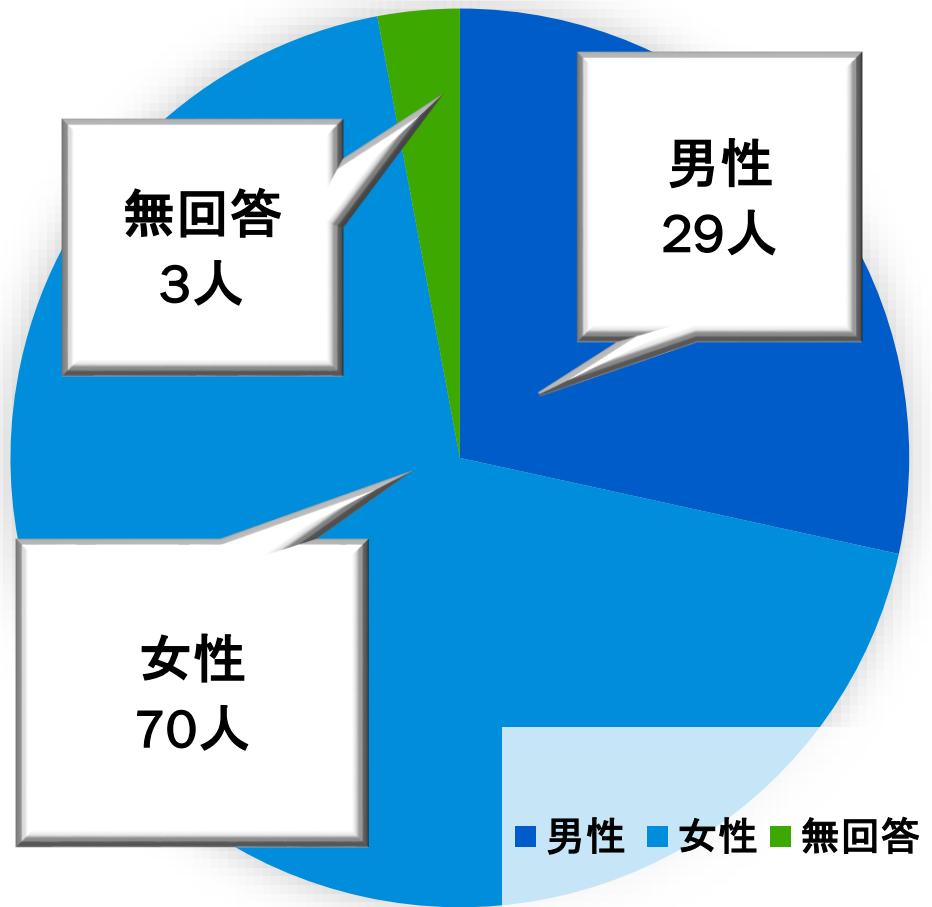
どんぐりの家取材対応
11月23日



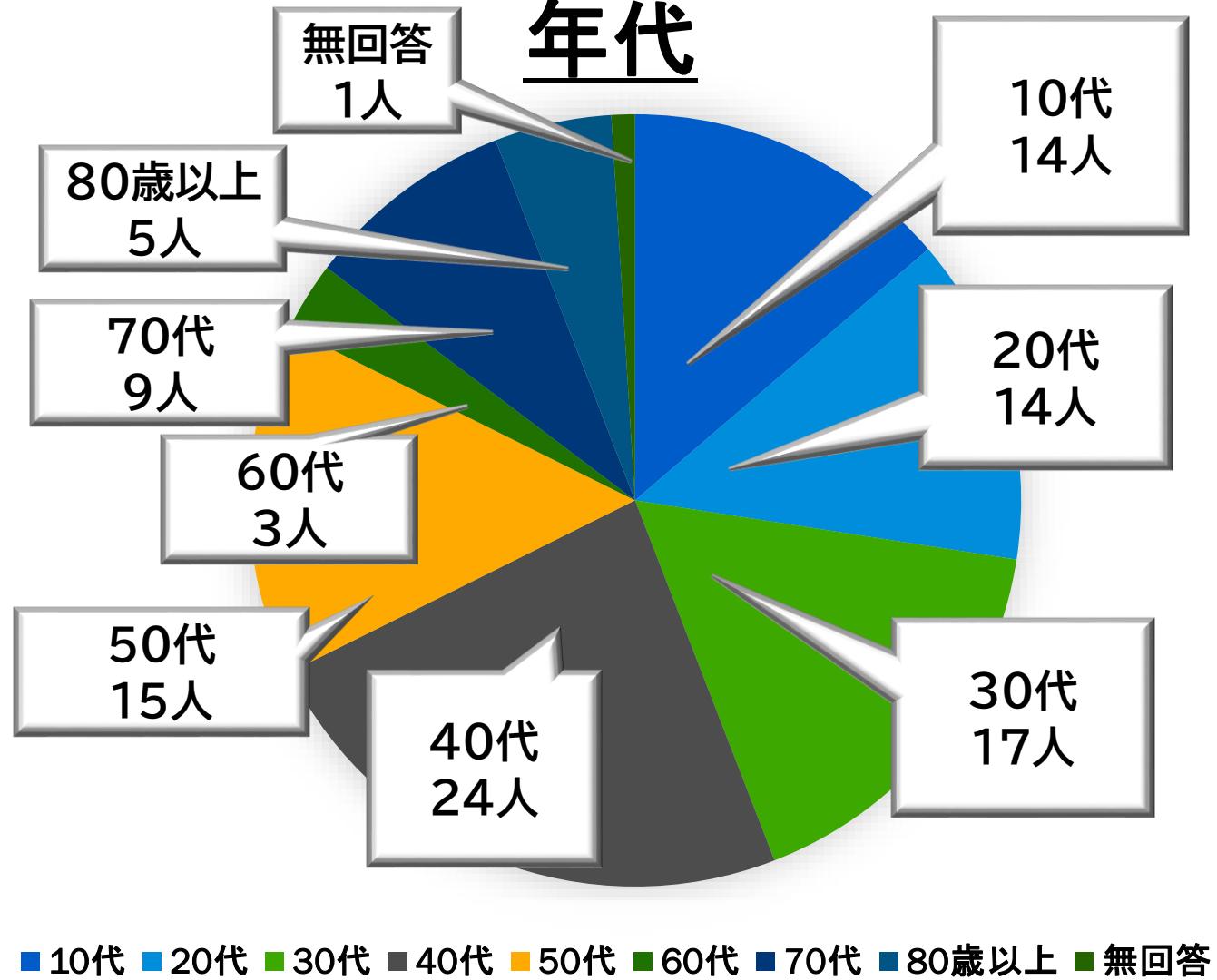
展示会【はっち】取材対応
12月17日

◎アンケート結果

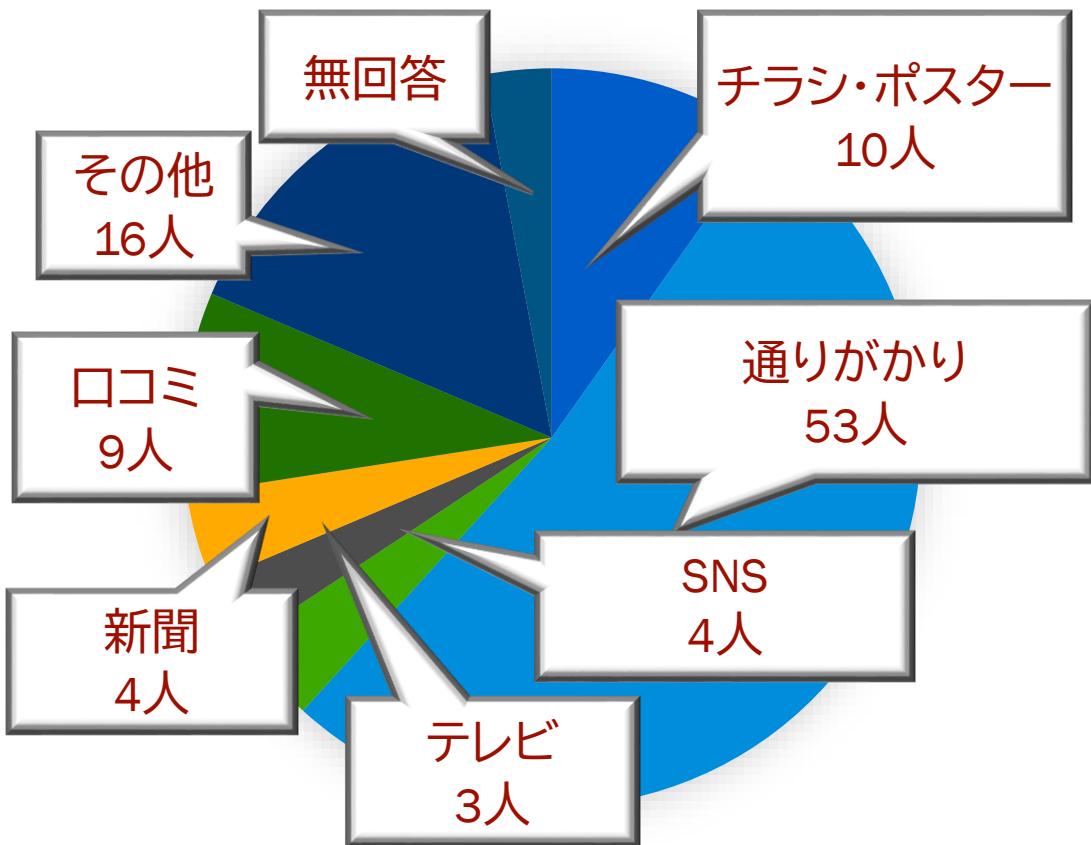
性別



年代



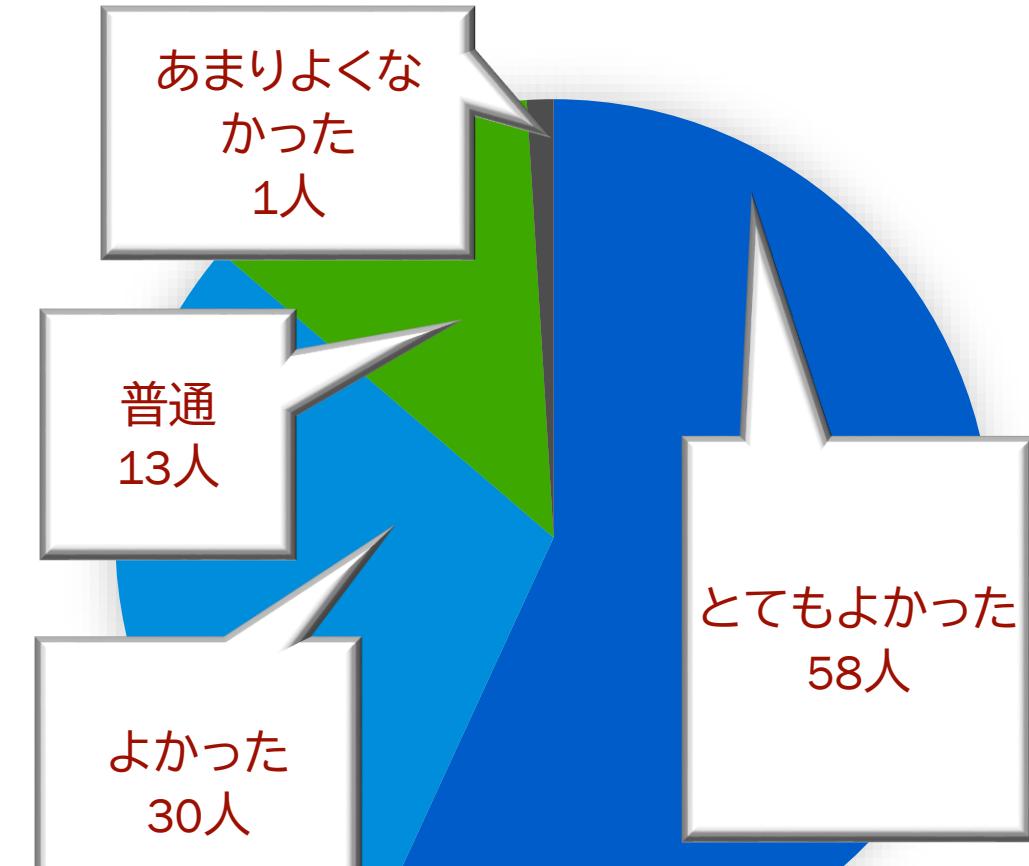
来場のきっかけ



- チラシ・ポスター
- SNS
- 新聞
- その他

- 通りがかり
- テレビ
- 口コミ
- 無回答

イベントの内容



- とてもよかったです
- よかったです
- 普通
- あまりよくなかった

展示会に来た理由（複数回答可）

精神障がい・知的障がい・発達障がいのある人が製作した展示物に 관심があったため

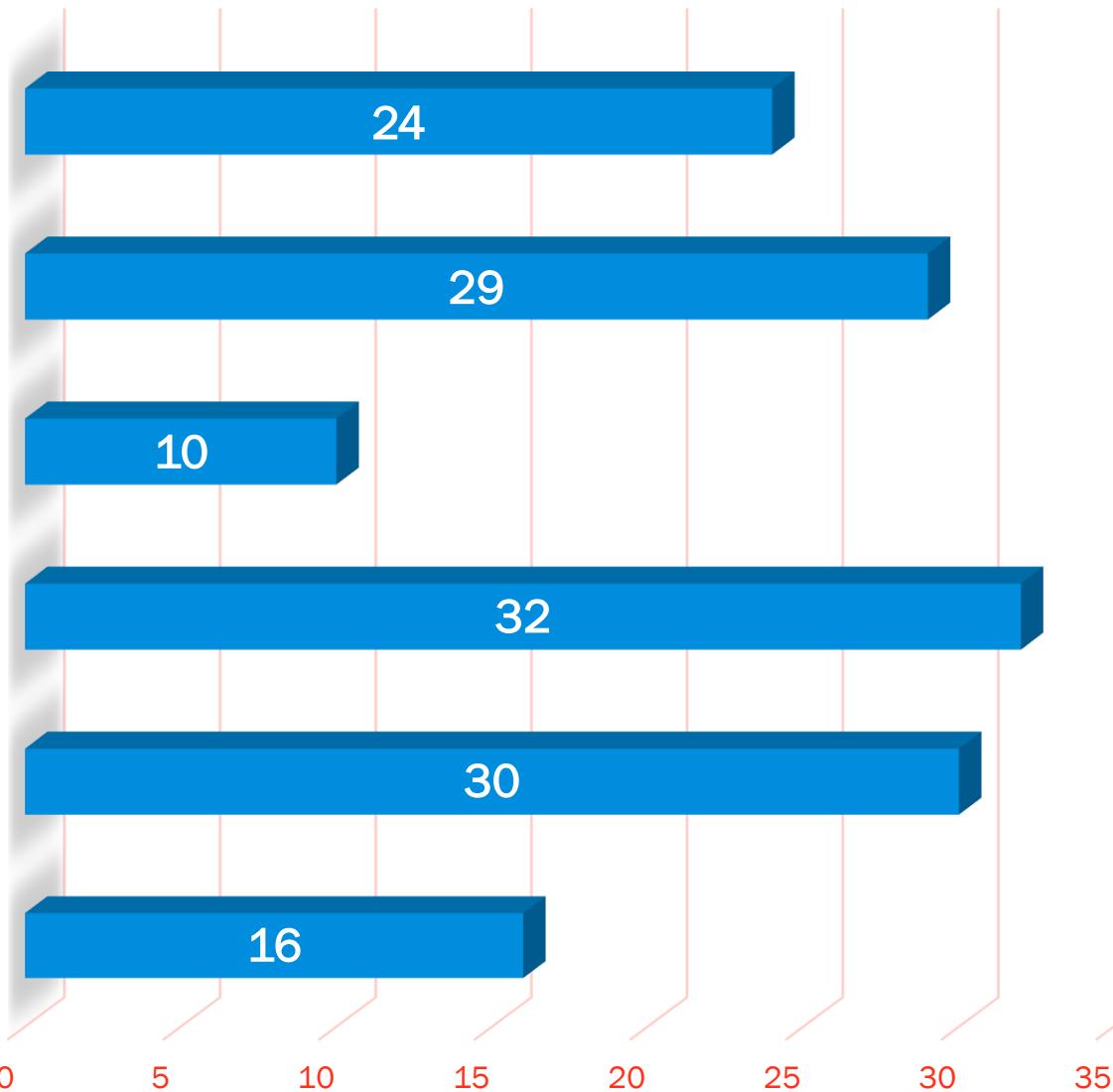
中心街を彩るまちづくりという内容に興味をもったため

精神障がい・知的障がい・発達障がいのある人について知るよい機会だと思ったため

地域にちなんだ展示物を観てみたいと思ったため

楽しめそうなイベントだと思ったため

その他



来場者の声

<子どもの関心>

- 子どもが願い事やイラストを書いて、貼れる企画がよかったです
- ぱっと見て子どもの興味をひいてよかったです
- 子どもが楽しく参加できた

<展示会の雰囲気>

- 子供に優しく教えてくれた
- どの年代でも楽しめる
- ゼミ生の案内が優しい
- 参加型企画がよかったです
- とても温かさを感じる

<創作物の魅力>

- 大きさがインパクトがある
- 色鮮やかで心が明るくなった
- 11匹のねこの絵が子供に人気
- 展示物の量の多さ
- 作品が華やか、カラフル

<障がいのある人の社会参画>

- 障がいのある方の活動が地域の多くの方に知ってもらえる取り組みでとても素晴らしいと思う
- ぜひ継続して取り組んでほしいと思う
- 病気や障がいがあっても、地域のみなさんと関わりを持つ機会があることを知ることができる
- どんどん輪が広がっていくことに期待している

○成果

利用者との交流を通して、類い稀な持ち味や個性を発見することができ、それらを發揮しうる創作活動ができた

目を引くような華やかな創作物を展示し、イベントの趣旨がわかるよう活動風景を加えたパネルを掲示し、街に彩を添えることの意義や障がいのある方の活動について、地域の方に知っていただいた

中心街の活性化への貢献や地域の方々への
障がい理解の促進

協働のまちづくり

くるみの
里

学 生

どんぐりの
家

サクラ

わいぐ

なんぶ
ねっと

- 本事業による活動
- ◆ 障がいのある人による
社会参画の促進
 - ◆ 彩のあるまちづくり

○課題

持続的に街に彩を添える意義や、より多くの方に障がいのある人への理解を伝える必要性

- ✿ わいぐパネル展に展示中
- ✿ 今後、中心街に展示していただける企業・団体様等募集中

街や地域への働きかけ

活動を通して

まちづくり活動を通して、
新しい出会いがあり、
多くの人と協働できた

地域の特長や、
障がいのある人の
持ち味・個性を活かした
活動を開拓してきた

つながった人々と共に作り上げることができた

街の活性化
障がいへの理解

協働していただいた皆様
ありがとうございました



ご清聴
ありがとうございました

八戸学院大学 大木ゼミ

Instagramも
やってます！



八戸学院大学

